

第 19 回「あび北フォーラム」議事録

テーマ：『地震に備えて』～自治会町内会ができることは～Part 2』

開催日： 2024（令和 6）年 10 月 20 日（日） 13 時 30 分～16 時 30 分

開催場所： 我孫子市北近隣センター（ホール、会議室 1-調理室、会議室 2-3）

参加者： 自治会等： 18 自治会等 24 人

我孫子市役所：市民協働推進課係長他 1 人（計 2 人）

地域会議事務局等：15 人（合計 41 人）

配布資料：

- ①開催要領
- ②前回（第 18 回）の防災アンケート自治会別点数合計表と世帯数グラフ
- ③前回（第 18 回）の防災アンケート自治会別採点結果表【自治会別配付】
- ④出欠表
- ⑤次回（第 20 回）のテーマ案エントリー表
- ⑥参考_久寺家三菱自治会の安否確認情報シート導入と普及説明会出席模様とシート
- ⑦参考_我孫子社協自治会活動情報誌第 22～24 号（災害時に役立つ情報第 1～3 弾）
- ⑧参考_地震防災活動に役立つ参考情報 URL
- ⑨参考_前回（第 18 回）の議事録
- ⑩参考_第 1 回から第 18 回までのフォーラム内容一覧

1. 開会挨拶（要旨）

○事務局長

・今回のテーマ設定理由とフォーラムへの期待などの挨拶があった。

＜テーマ設定理由＞

前回は「地震に備える」をテーマに自治会・町内会（共助）の対応について意見交換をしたが、時間の制約もあり、各自治会町内会での取組みの披露までで、課題への対応などの意見交換が不十分だったので、今回も「地震への備え」をテーマとした。

＜フォーラムへの期待＞

前回からの継続テーマなので、事務局のプレゼンテーションはなしで、意見交換に時間をとるので、皆さんの今後の防災活動に有意義な場にして頂ければと思う。

○市民協働推進課 係長

・自然災害に対する備えは自助・共助・公助が補完しあって強固なものになるが、今回のフォーラムはその中の共助についての意見交換を行うということで、地域コミュニティの活性化、地域の強い絆につながっていくものと期待するとの挨拶があった。

2. グループ意見交換概要

事務局より今回のフォーラムの進め方とグループでの意見交換の参考情報として配付した資料の簡単な説明のあと、3 グループに分かれて意見交換に入った。

各グループの意見交換概要は、【別紙】グループ討論概要を参照。

3. 連絡事項

・事務局より次回の開催予定日（令和7年2月16日）のアナウンスがあり、閉会した。

以上

【別紙】 グループ討論概要

各グループの意見交換の概要（ポイント）を以下に記する。

【Aグループ】

（１）防災活動について

「地震への備え」では、安否未確認世帯の確認は家の中まで確認するのか、その時の遠隔地の親族等との連絡など自治会の対応について検討すべきことが多いなどの意見があった。

また「洪水への備え」についての情報交換や高齢者等の買い物支援や情報共有・伝達での LINE 等 SNS の活用などの情報交換も行われた。

（２）次回（第 20 回）フォーラムのテーマについて

- ・テーマエントリー表では「高齢者」のワードが多いことから、高齢者の閉じ籠もりの解消、高齢者の外出支援やコミュニケーションの一つである LINE 等の SNS の活用などについて、『高齢者とデジタル化』をテーマに討論することにした。

【B グループ】

（１）防災活動について

前回のグループ討論であがられた問題・課題についての意見交換が行われた。

今回の討論では、

- ・参加自治会の全てで安否確認訓練はやっているが、平日と休日夜間では対応できる者と人数の違いに対応した訓練はが出来ていないこと
- ・ノウハウ継承では、防災担当役員を複数年とすることが有効であること
- ・安否確認では、安否未確認時の対応をどうするかまでは全自治会で決めていないこと

などの課題を確認した。

事務局から、参加自治会は今日の意見交換でわかった課題等について、自治会役員会などで話し合っ欲しい旨の呼び掛けをして終了した。

（２）次回（第 20 回）フォーラムのテーマについて

- ・B グループで事前にエントリーされた中で多かった「自治会運営」をテーマにした。

「自治会運営」には、

- ・役員の担い手不足の要因と対応上の課題
⇒高齢化？ 役員の仕事内容や仕事量？
- ・地震や洪水時の自治会の対応上の課題（日中帯の対応なども）
- ・役員同士、会員への伝達などの情報共有等でのデジタル活用について
その有効性と役員交代でもその対応を維持するための対応は？
- ・災害時の伝達手段としてデジタル活用の有効性やその維持の対応などについて
- ・自治会運営の効率化

など多岐に及ぶが、今年度の締めくくりとして有意義な意見交換を行うことにした。

【C グループ】

（１）防災活動について

参加自治会の多くで、防災訓練への参加率が年々低下していることを課題としており、その対策として、防災活動経験者を増やす取り組みや防災活動を動画にして見てもらえるようにするなどの取り組みが紹介された。

また、シナリオ無しで地震時の模擬訓練をしている自治会があり、その実施理由と効果などの紹介があり、他の自治会もとても参考になったとの話が出ていた。

さらに、地震は広範囲で被害が及ぶので公助は相当時間を要することを前提として、地域内の安否未確認世帯への対応や救出救護の対応、火災発生時の初期消火などは地域住民出の対応が必要に

なるが、自治会としての対応訓練は出来ていないとの話があった。加えて被災後の避難者支援の話もあったが、具体的な対応までの意見交換は出来ずに終了した。

（２）次回（第２０回）フォーラムのテーマについて

・テーマエントリー案と本日の討論を踏まえ、次回は、本日の討論では具体的なところまでの意見交換が十分に出来なかった、自治会防災組織としての「安否不明者の再確認のあり方」「救出救護のあり方」「被災後の生活支援（在宅避難者への支援、避難所避難者への支援など）のあり方」などについて、テーマを『被災後の被災者支援』として意見交換を継続することにした。

以上